

平成21年2月9日

各 位

会 社 名 東京応化工業株式会社
 代 表 者 名 取締役社長 中村洋一
 コード番号 4186 (東証第一部)
 問 合 せ 先 広報部長 赤間 廣
 TEL. 044-435-3000

業績予想の修正および配当予想の修正ならびに役員報酬・管理職給与の減額に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成20年11月11日に公表いたしました連結業績予想および平成20年7月2日に公表いたしました個別業績予想を修正するとともに、平成20年11月11日に公表いたしました配当予想を修正いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、役員報酬および管理職給与を減額することとし、本年1月より実施しておりますので、併せてお知らせいたします。

記

1. 平成21年3月期通期業績予想数値の修正 (平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(1) 連結

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (平成20年11月11日発表)	97,600	5,500	6,000	2,500	54円36銭
今回修正予想(B)	84,000	△1,500	△1,600	△4,600	△100円30銭
増減額(B-A)	△13,600	△7,000	△7,600	△7,100	—
増減率(%)	△13.9	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成20年3月期)	102,300	8,266	7,674	4,259	91円51銭

(2) 個別

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (平成20年7月2日発表)	85,000	3,400	4,700	2,400	51円56銭
今回修正予想(B)	68,900	△3,900	△2,800	△5,200	△113円39銭
増減額(B-A)	△16,100	△7,300	△7,500	△7,600	—
増減率(%)	△18.9	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成20年3月期)	86,102	5,272	5,718	3,473	74円63銭

1/2

◆本件に関するお問い合わせは◆

東京応化工業株式会社 広報部

〒211-0012 川崎市中原区中丸子150番地 TEL. 044-435-3000(代) FAX. 044-435-3020

<http://www.tok.co.jp/>

(3) 修正の理由

米国金融危機に端を発した景気の減速が世界規模で深刻化し、第3四半期に入り、当社グループ製品の主な需要先でありますエレクトロニクス業界におきましても、生産稼働率が予想を超えて落ち込んでおります。さらに、円相場が急騰し、当社の想定した以上の円高水準で推移しております。第4四半期におきましても、受注は低迷し、かつ円高基調が継続するものと予想されます。

当社グループは、事業環境の悪化を克服するため全社一丸となって経営努力を重ねておりますが、このような背景により、平成21年3月期通期業績予想（連結・個別）を上記のとおり修正いたします。

2. 平成21年3月期期末配当予想の修正

(1) 修正の内容

基準日	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	年間
前回発表予想（平成20年11月11日発表）	—	18円	36円
今回修正予想	—	17円	35円
当期実績	18円	—	—
（ご参考）前期実績（平成20年3月期）	18円	18円	36円

(2) 修正の理由

当社は、株主各位への利益還元を経営上の重要課題の一つと位置づけており、長期的な視点に立ち、財政状態や業績等を総合的に勘案したうえで、企業競争力の強化や収益の拡大に不可欠な内部留保を確保するとともに、現在の水準を考慮しつつ連結配当性向20%以上の配当を継続的に実施することを基本方針としております。

平成21年3月期の期末配当金につきましては、上記のとおり、事業環境の急速な悪化に伴い通期業績予想を修正したことから、誠に遺憾ではございますが、配当予想を修正いたします。

3. 役員報酬および管理職給与の減額

事業環境の急速な悪化に鑑み、緊急対策の一環として、全取締役・執行役員の報酬および全管理職の給与を減額することとし、本年1月より実施しております。

また、監査役より監査役報酬の自主返上の申し入れがありましたので、併せてお知らせいたします。

(1) 報酬・給与の減額の内容

取締役・執行役員および管理職：月額報酬・給与の10%から25%を減額

(2) 報酬の自主返上の内容

監査役：月額報酬の25%を返上

(3) 対象期間

平成21年1月より当分の間

（ご注意）

上記の業績予想は、現時点において見積もられた見通しであり、これまでに入手可能な情報から得られた判断に基づいております。したがって、実際の業績は、様々な要因やリスクによりこの業績予想とは異なる結果となる可能性があります。

以 上